MEDIAWORKS

Every week, every sister.

Bye!

週刊わたしのおにいちゃん

WEEKLY DEAREST MY BROTHER VOLUMES/14TH FEBRUARY MEDIAWORKS/K&M

Hebdomadaire mon frère

5

5

週刊わたしのおにいちゃん

WEEKLY DEAREST MY BROTHER VOLUMES/14TH FEBRUARY MEDIAWORKS/K&M

Hebdomadaire mon frère［日本版］

MEDIAWORKS

ISBN4-8402-2561-3
C0876 ¥780E
9784840225618
1920876007806
780円（税別）

さよなら三角、またきて妹。もっときて！

「私立大文寺西小学校」に通うキュートなキャラクターたちを、フィギュアとイラスト・コミックで毎週お届けします。全5号にわたりおとどけしたシリーズ、いよいよ最終号。いや、すべてはここから始まるのか……。

第5号のおともだち
エルロン・エゾモモンガ

Ooshima Yuuki

オリジナルキャラクターデザイン
&原型制作
［大嶋優木］大嶋優木デザインの作り下ろしフィギュア!

造型企画制作
［海洋堂］KAIYODO

毎週毎週フィギュア＋ブックレット

32Pオールカラー

イラストレーション&コミック
［YUG］
［ばらスィー］
［結城心一］ほか

フィギュアのキャラクターをもとにしたイラストとコミック、企画ページも充実!

Shinichi Yuhki

発行●メディアワークス 〒101-8305 東京都千代田区神田駿河台1-8 ☎03-5281-5203（営業）

※写真を参考にして組み立ててください。
※イラスト・写真と商品に違いなる場合がありますのでご了承ください。
【注意】保護者の方へ必ずお読みください。
●一般玩具品がありますので、口の中に入れたりしてください。誤飲などの恐れがあります。
●小さい部品があります。ご幼児にわたるときは、ご注意ください。誤飲・誤食の恐れがあります。
●安全のため繰り返し遊ぶ際は、変形した場合は使用しないでください。

ワックス原材料 PVC ABS シュリンク PP 紙 PP　外箱 段ボール 印刷材　K&M

【お客様へ】
小社製品は万全の注意をはらって製造しておりますが、万一損品に不足、不良などがございましたら、販売店下記住所までご連絡いただきますようお願いいたします。
株式会社ムービック K&Mフィギュア係 〒173-0015 東京都板橋区仲宿7-3
tel 03-5965-1332（受付時間 平日（祝日を除く）10時～16時）
製造元 株式会社海洋堂 〒571-0041 大阪府門真市柳町19-3

KAM2004 MADE IN CHINA

※この箱はフィギュアを保護するためのものです。箱の汚れ、潰れ、破損等による交換には応じかねますのでご了承ください。

©YOTUBA SUTAZIO/K&M

週刊わたしのおにいちゃん

5

5

WEEKLY DEAREST MY BROTHER VOLUME5/14TH FEBRUARY MEDIAWORKS/K&M

週刊わたしのおにいちゃん

Hebdomadaire mon frère

CONTENTS

FIGURE & ILLUSTRATION

THIS WEEK'S FRIEND --- YUUKI OOSHIMA

004

COMIC

FRIENDZ --- YUG

008

ILLUSTRATION

JAPAN & ME --- BARASUI

014

FOUR FRAME CARTOON

MATO-CHAN --- SHINICHI YUUKI

020

COLUMN

THE WORLD IS FULL OF DELIGHTS

026

NOTICE

SPECIAL ISSUE ANNOUNCEMENT

028

Hebdomadaire mon frère

THIS WEEK'S FRIEND

HIROFUMI TERANISHI ELEMENTARY SCHOOL, YEAR 2 CLASS 2

LRON EZOMOMONGA

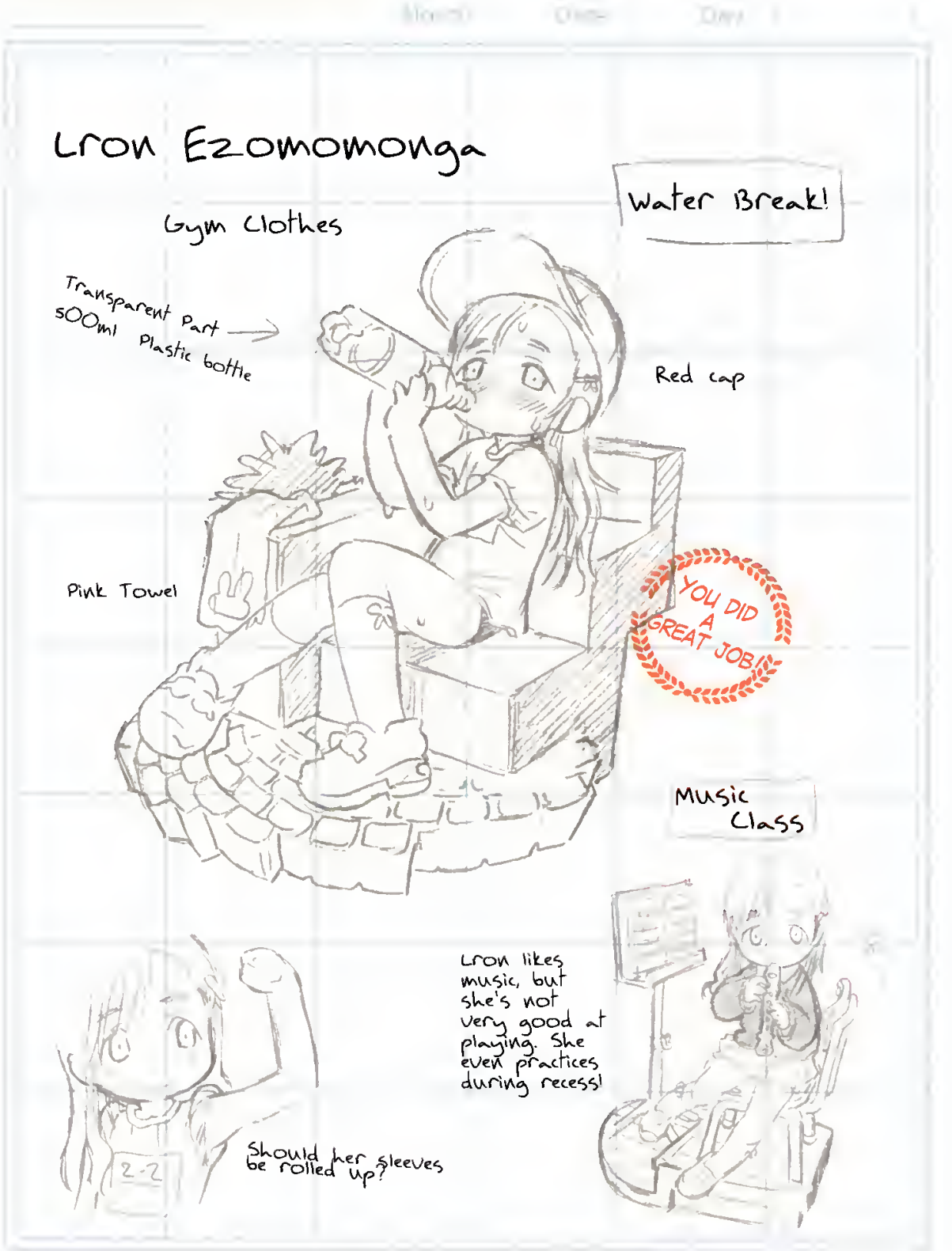
Lron Ezomomonga

Character design & sculpture : Ooshima Yuuki

At first glance she may seem pretty quiet since she's shy around strangers, but once she opens up she's really vocal. She trains her body through some form of martial arts, whether it be karate, or kung fu. She hates to give in. She started off speaking incredible English, but she wanted to be able to talk with Mion, who was trying really hard to communicate with her, so lately she's been learning Japanese from Sonome.

Character design:Oashima Yuuki

Character sketch

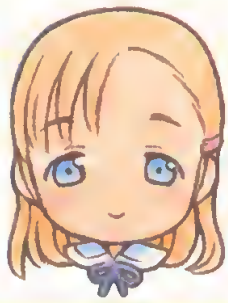


When Lron listens to someone talking, she looks deeply into that person's eyes. Is she concentrating so that she won't miss a word they say? She likes sweet things. Things like potatoes, chestnuts, and squash. On the other hand, whenever she sees a dried plum, she runs the other way.

Character design.Oashima Yuuki

HIROFUMI TERANISHI ELEMENTARY SCHOOL, YEAR 2

FRIENDZ

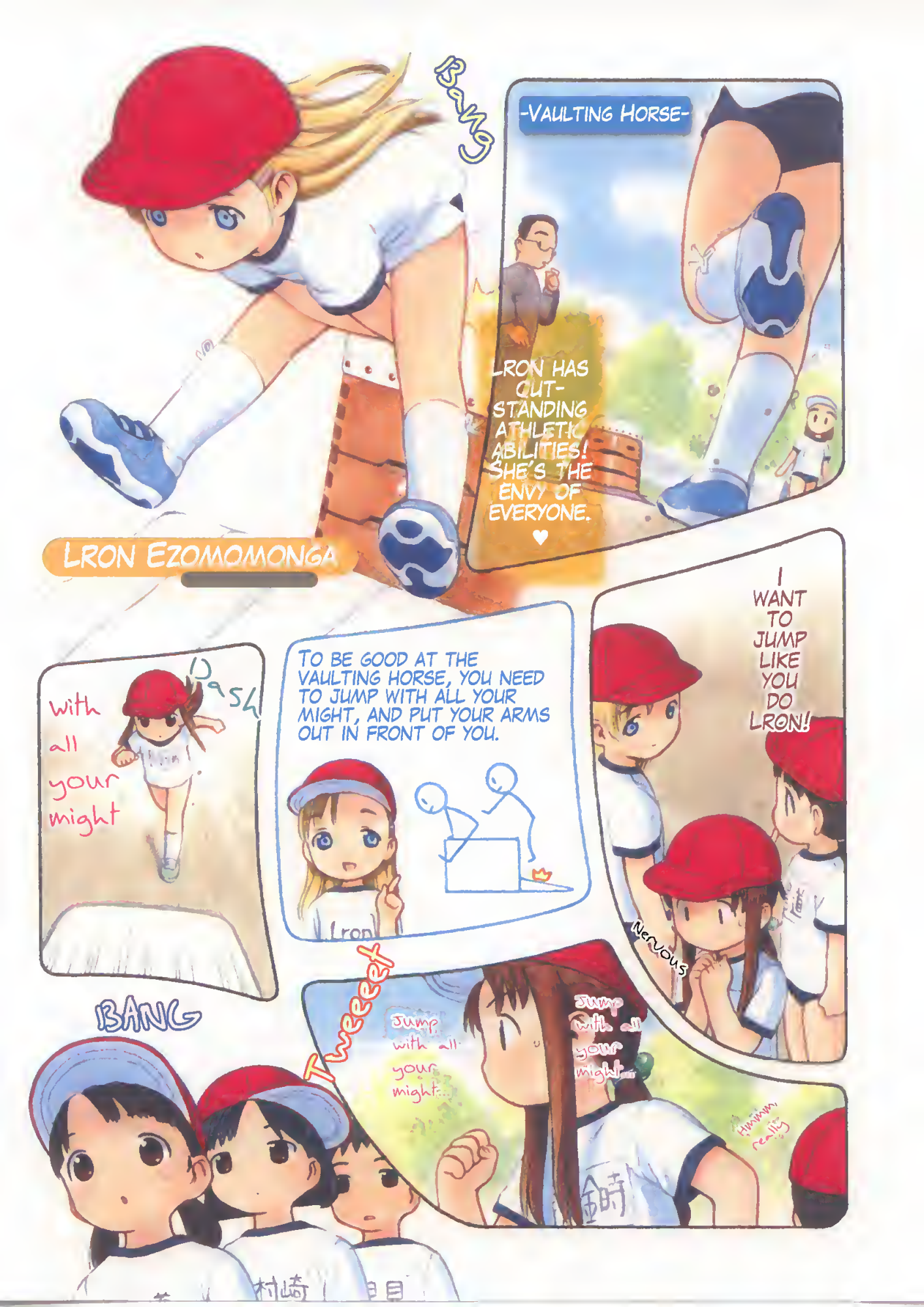


5 PE

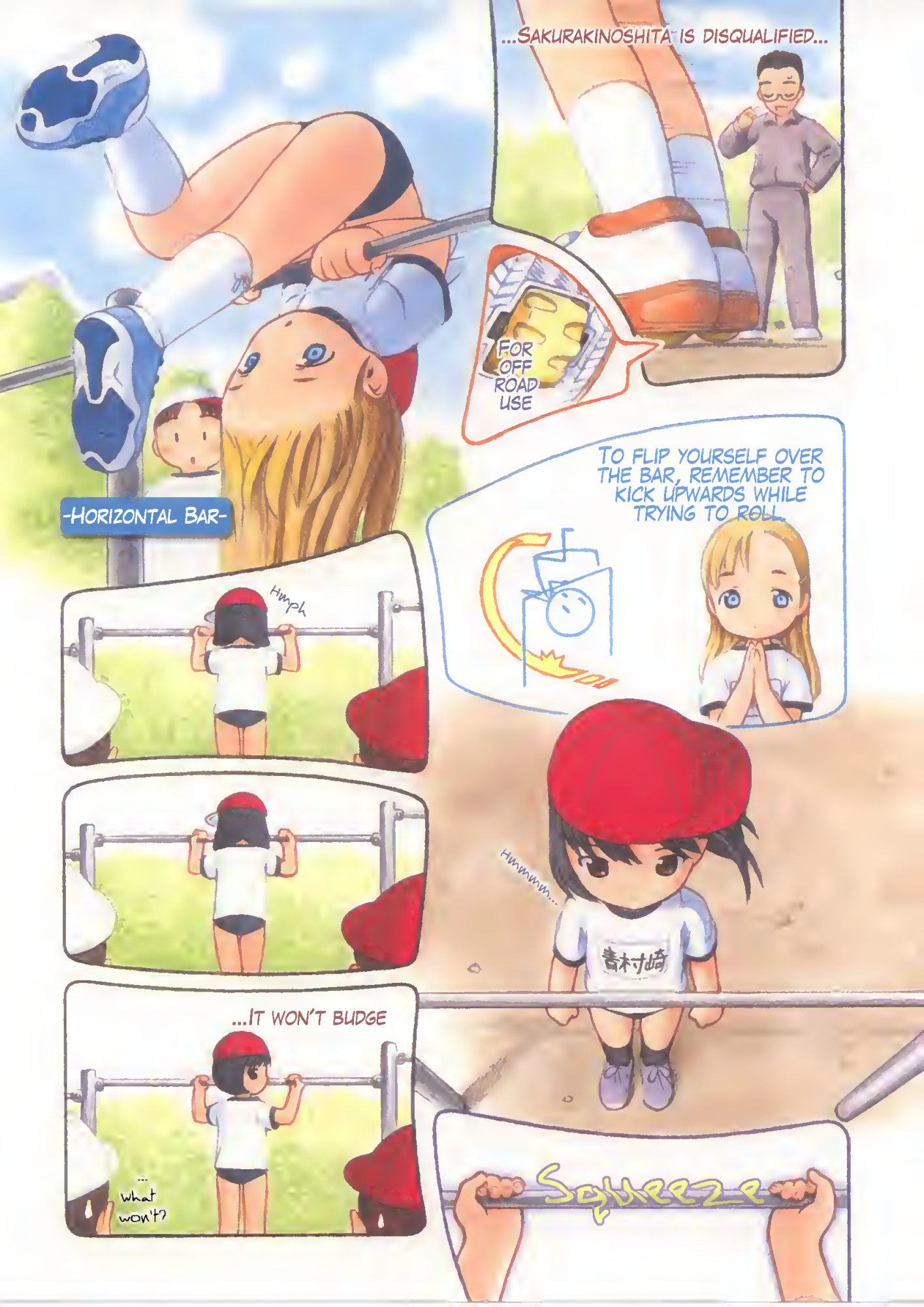
ART · STORY

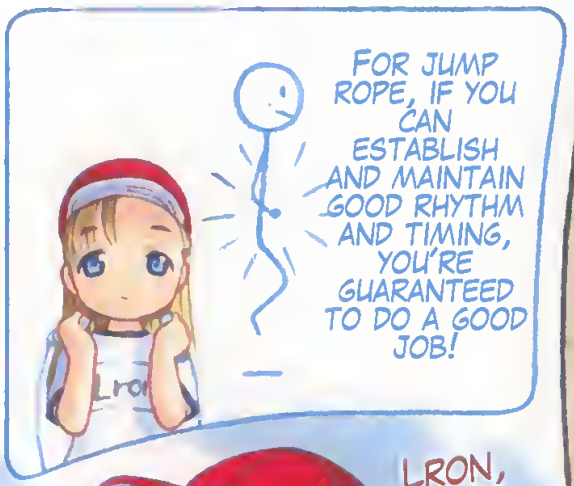
YUG

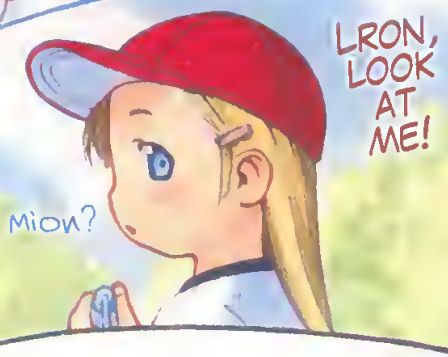
ゆぐ


BANG
-VAULTING HORSE-
LRON HAS OUT-STANDING ATHLETIC ABILITIES! SHE'S THE ENVY OF EVERYONE. ♥
LRON EZOMOMONGA
I WANT TO JUMP LIKE YOU DO LRON!
NERVOUS
TO BE GOOD AT THE VAULTING HORSE, YOU NEED TO JUMP WITH ALL YOUR MIGHT, AND PUT YOUR ARMS OUT IN FRONT OF YOU.
Lron
DASH
with all your might
Tweeeet
Jump with all your might...
Jump with all your might!!
Ahahaha really
BANG

-FOOTRACE-
Lron
TO RUN FAST, YOU SHOULD KEEP YOUR LEGS OUT IN FRONT, AND BE SURE TO PUMP YOUR ARMS
Lron
on your mark ...
Tweet!
SEE YA-
ZOOOM
WOW, ASHITA IS FAST!


...SAKURAKINOSHITA IS DISQUALIFIED...
FOR OFF ROAD USE
-HORIZONTAL BAR-
TO FLIP YOURSELF OVER THE BAR, REMEMBER TO KICK UPWARDS WHILE TRYING TO ROLL.
Hmph
Hmmmm...
...IT WON'T BUDGE
... what won't?
Squeeze


FOR JUMP ROPE, IF YOU CAN ESTABLISH AND MAINTAIN GOOD RHYTHM AND TIMING, YOU'RE GUARANTEED TO DO A GOOD JOB!


LRON, LOOK AT ME!
Mion?

-JUMP ROPE-

hehehe
Super high speed!

swish
swish
swish
OH! THAT'S EXCELLENT!

THE END

FRIENDZ
「flap trap!」
SEE YA

JAPAN & ME

YEAR 2 CLASS 2, LRON EZOMOMONGA

by

BARASUI

JANUARY 1ST NEW YEAR'S

JULY 7TH ● TANABATA

NOVEMBER 15TH ● SHICHI-GO-SAN

NOVEMBER 23 LABOR THANKSGIVING DAY

Me & Japan

cast

Lron Ezomomonga

Mion Onomichi

Ashita Sakurakinoshita

Sonome Ujikintoki

Harusame Aomurasaki

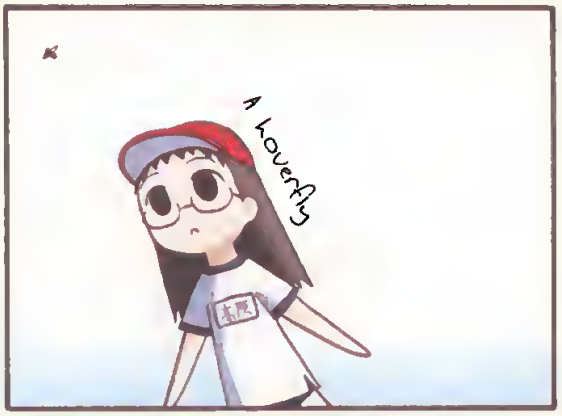
illustrated by Barasui

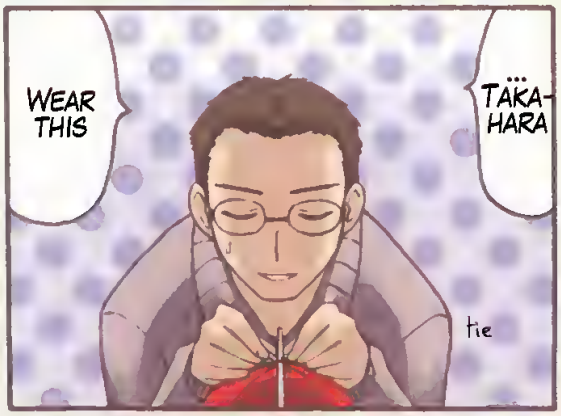
fin.

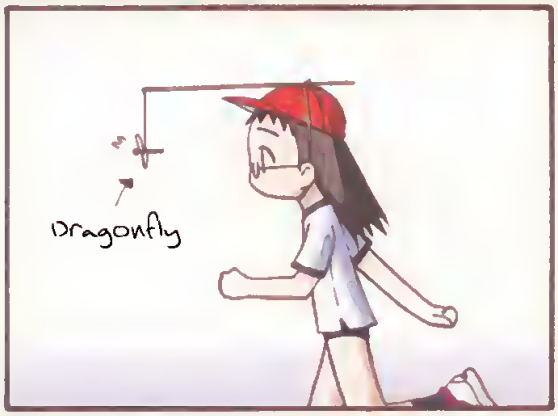
MATO-CHAN

SHINICHI YUUKI

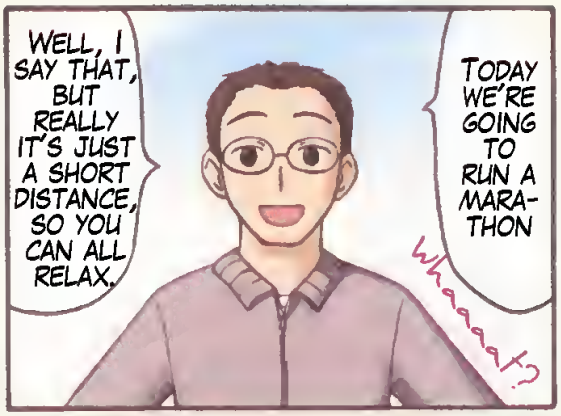
Follow the Leader

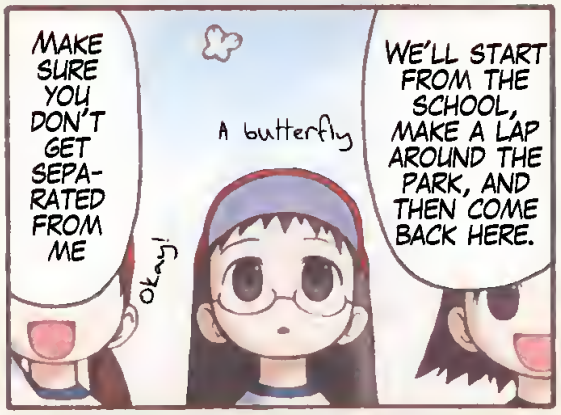


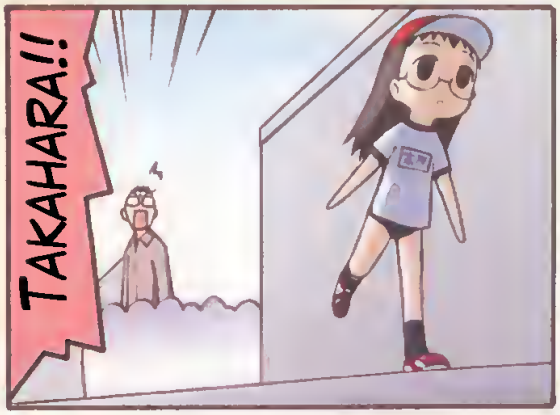




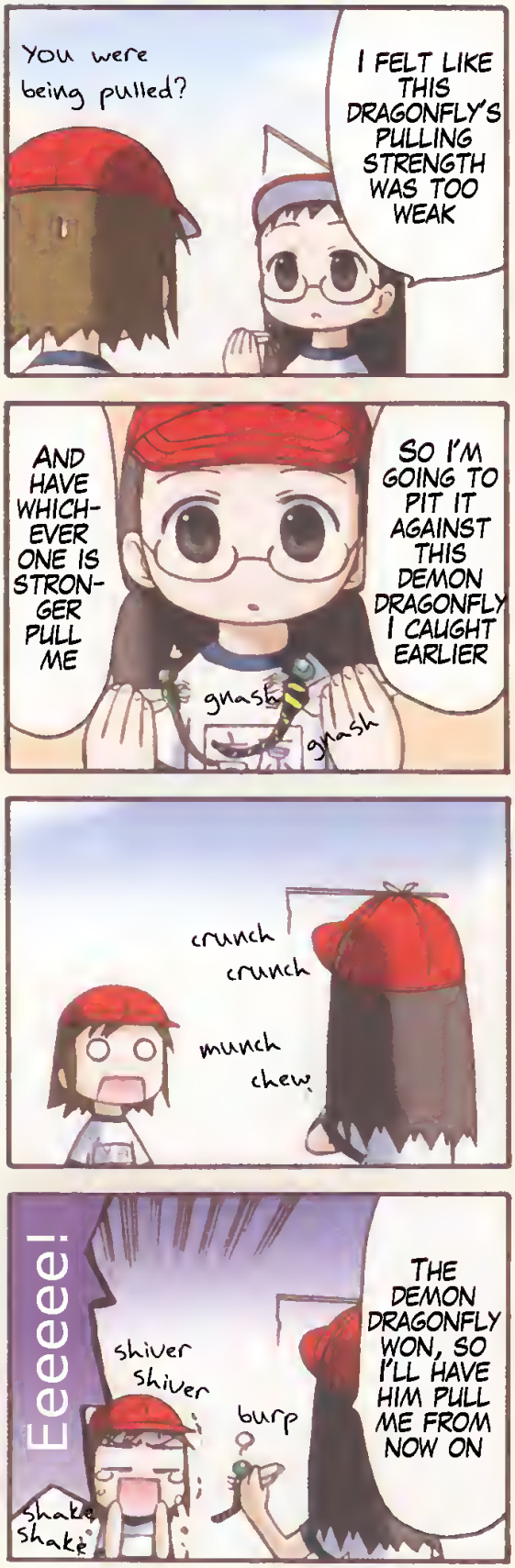
Stray from the Path



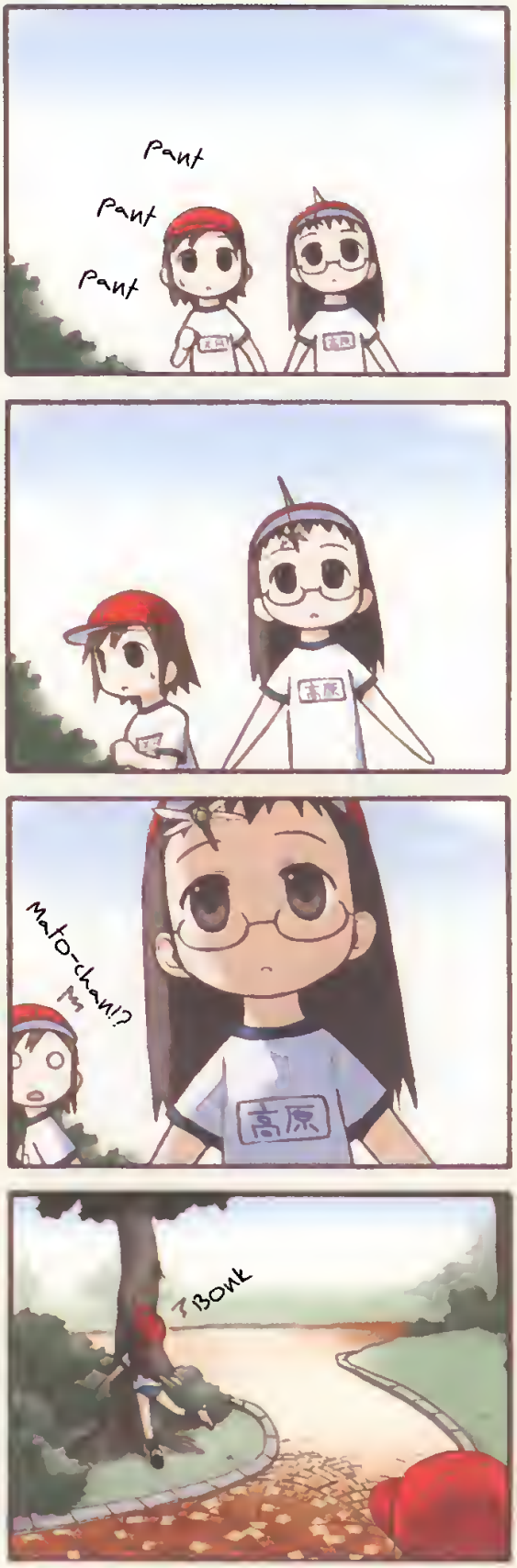

MAKE SURE YOU DON'T GET SEPA-RATED FROM ME
Okay!
A butterfly
WE'LL START FROM THE SCHOOL, MAKE A LAP AROUND THE PARK, AND THEN COME BACK HERE.



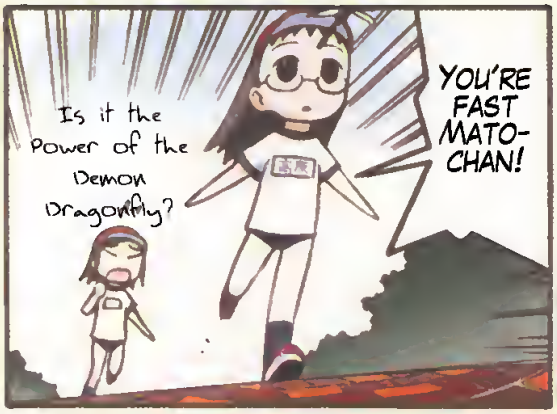
Survival of the Fittest

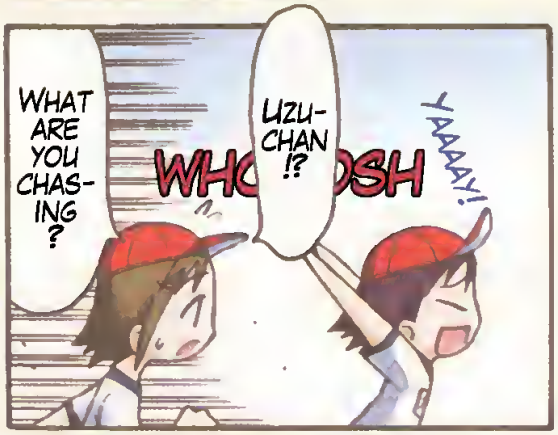

You were being pulled?
I FELT LIKE THIS DRAGONFLY'S PULLING STRENGTH WAS TOO WEAK
AND HAVE WHICH-EVER ONE IS STRON-GER PULL ME
SO I'M GOING TO PIT IT AGAINST THIS DEMON DRAGONFLY I CAUGHT EARLIER
gnash
gnash
crunch crunch
munch chew
Eeeeee!
shiver shiver
burp
shake shake
THE DEMON DRAGONFLY WON, SO I'LL HAVE HIM PULL ME FROM NOW ON

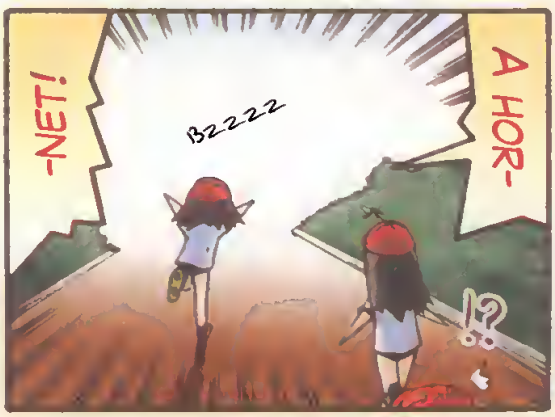
Dead Ahead



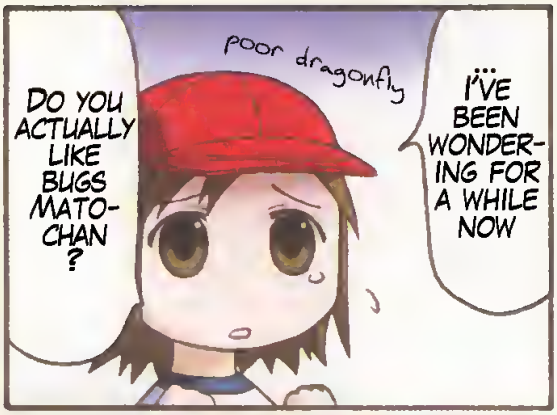
There's Always Someone Better

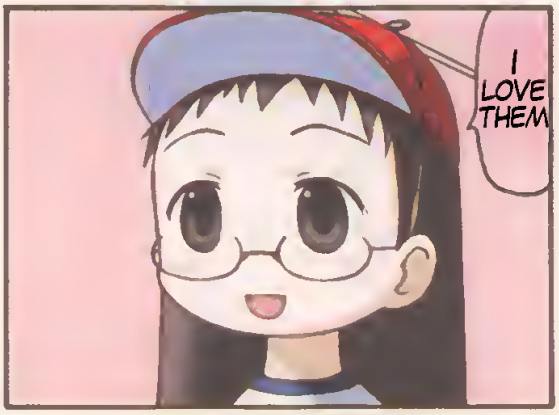


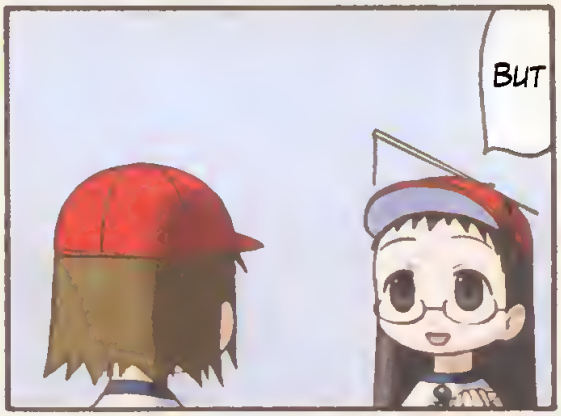


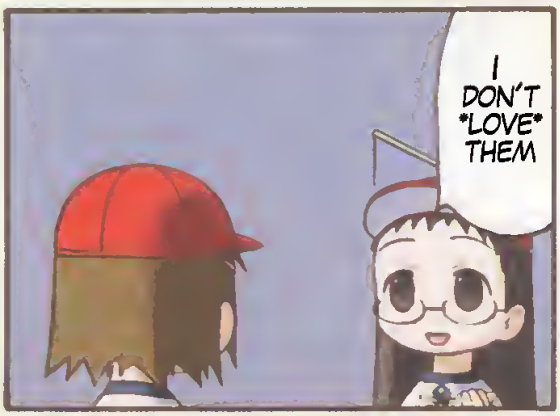


There are Different Kinds of Love

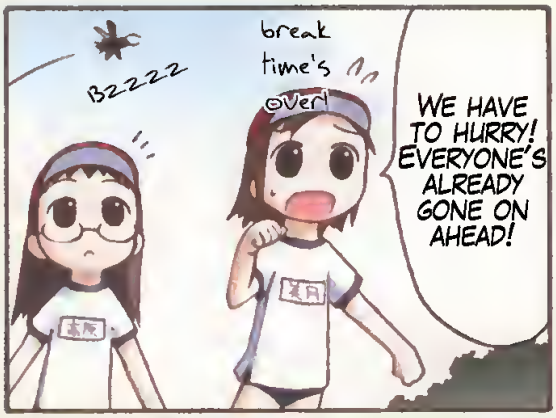


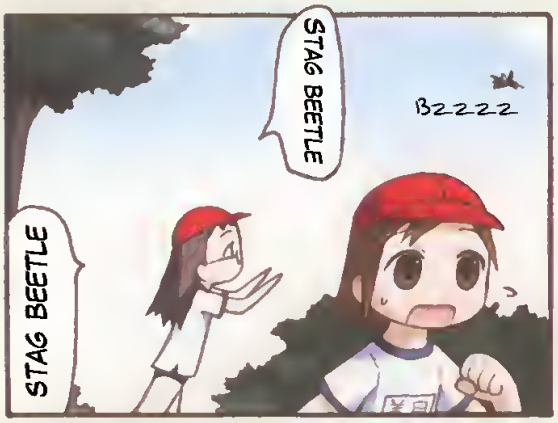






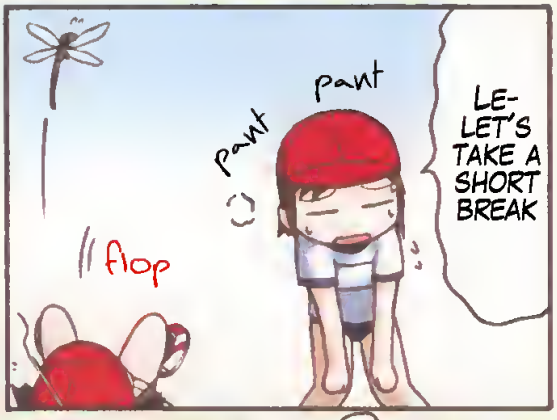
Farewell

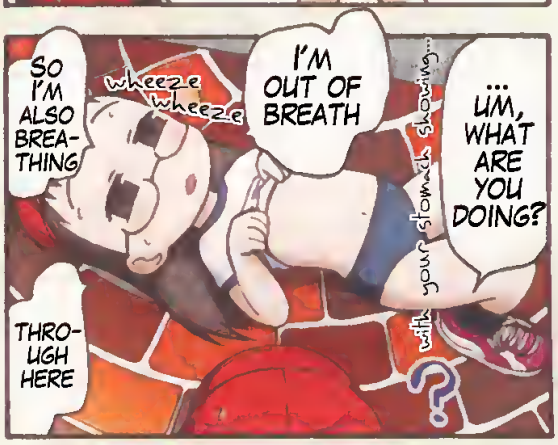


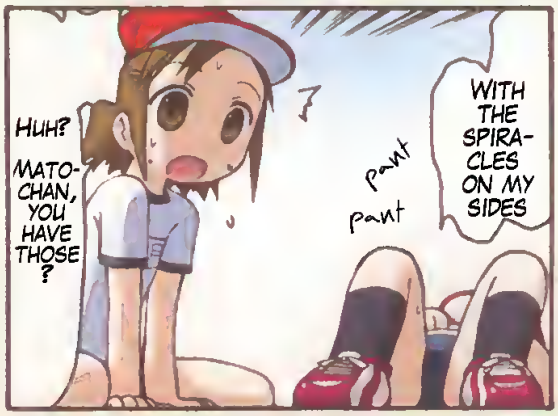


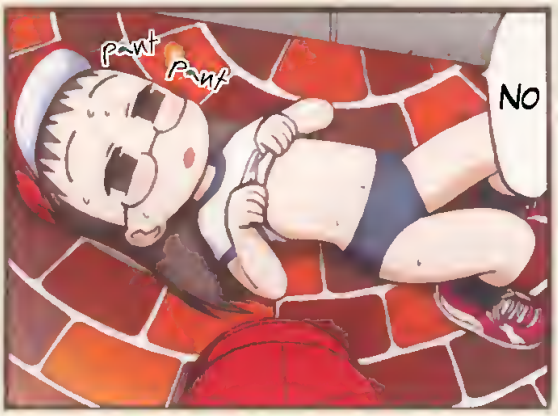
THE END

Spiracles









TRIVIA: SPIRACLES - RESPIRATORY PORES LOCATED ON THE SIDES OF INSECTS. THEY'RE CONNECTED TO THE WINDPIPE.

LET'S DO THIS!

WEEKLY DEAREST MY BROTHER 2

|SERIES 2 x 5 ISSUES| A5 PAGES, MSRP ¥780 EACH, PLUS TAX

IT'S THE LONG AWAITED SEQUEL TO "WEEKLY MY BRO!" THERE HAVEN'T BEEN ANY OLDER BROTHERS, EVEN THOUGH IT SAYS "MY BROTHER" RIGHT IN THE TITLE... IN RESPONSE TO THIS OUTCRY, THE NEXT SERIES WILL BE FULL OF BIG BROTHERS! THIS WEEKLY COMIC, ART, AND FIGURE SET WILL FEATURE THE YOUNG MEN AT HIROFUMI TERANISHI HIGH SCHOOL. YOU CAN PARTNER THEM UP HOWEVER YOU LIKE TO ENJOY YOUR FAVORITE SITUATIONS.

THAT'S THE WACKINESS OF BEING A BIG BROTHER.

ART: KYOUKO NEGISHI

RELEASE: TBA

PLEASE NOTE THAT THIS PROJECT IS STILL IN THE PLANNING STAGES, AND AS SUCH IS SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE.

Wataru seken wa moe bakari

わたる世間は萌えばかり

第5回【重量調整子】

食玩のオマケは良くできている。

できすぎているので、もはやオマケという言い訳が通用しなくなった。オマケに対する過剰な要求が、従来のオマケが持つ意味を超えてしまったわけだ。「これはオマケなので……」と、いい加減なフィギュアをつけても、もう誰も納得してくれない。

知事になったのに、市民レベルの発言をしたら怒られるようなものだろうか。世間話では許されても、公の場では許されない。大人もいろいろ大変だが、そこで「私はコドモなので」と逃げては、ただのバカな大人だ。子供をバカにしてはいけない。

そういう状況の中、オマケ本来の意味であるところの、「価値0円の期待されていないもの」という品物が懐かしくなったりもしてくる。するだけではつまらないのでちょっと考えてみた。

それが今回提案する「重量調整子」だ。

コンビニで買う食玩を開けると、たまにフィギュア本体でもなく、お菓子でもない不思議なものが入っていることがある。箱には「ウエイト調整用のオモリなので食べてはいけません」と書いてあった。ようするに各パッケージごとの重量を均等にするためのオモリなわけだ。

同じシリーズでも、フィギュアの個体ごとに重さは違う。目当てのフィギュアを要領よく手に入れるには、重さを比べれば中身の見当がついてしまう。中身が分かったら、食玩の意味も半減するわけで、それを防止するために重量調整用のオモリが必要なのだ。モノとしての意味はまったくない。まさにオマケ。むしろオマケ以下の梱包材だ。

オマケの楽しみが失われた今、ここに注目してみたい。オモリの素材でフィギュアを作るのだ。重量別に型を作って、必要な商品で使用する。食玩の内容とも、メーカーも関係なく、重量調整する場合は適宜このフィギュアを入れていくのである。開けてビックリ玉手箱。いつどこで重量調整子ちゃんが出てくるかは、まったく予測がつかない。箱には「重量調整用のフィギュアが入っている場合がありますが、これは梱包材の一部なので萌えてはいけません」とでも書いておこう。間違って萌えられても責任はとれないし。

そして、この「オマケのオマケ」フィギュアのブームに火がつくと、重量調整子を目当てに食玩を買い求める人が続出。お菓子もオマケも捨てて、重量調整用のオモリを集めはじめる。意地をはって妙に良くできた重量調整フィギュアを投入するメーカーも出てくるだろう。

そのうち、重量調整フィギュアをバランスよく入れるために、オマケやお菓子で重量を調整することも起こりうる。本末転倒どころか、本も末もひっくり返っている。みんな、もうちょっと落ち着いてくれ！

もちろん重量調整子は、とくに設定もないただの女の子フィギュアなのだが、集めるにつれなんとなく世界観が見えてきたりもする。こうなるともう収集熱は止まらない。

「オマケの隙間に生まれた『見えない世界』に熱中する大人たち」とかいって評論家もネタができて大喜び。世相を斬る刀をさがすのに文化人も必死なのだ。

実際にこんなものは存在しないわけだが、このネタのフィギュアをワンフェスで発表したらどうだろう。もともと、「オマケのオマケ」という文脈があって成立するはずのフィギュアが、その基盤もなしに現実化され、消費されていく……。まあ、そんなこと言われても、ディーラーも「ただ可愛かったんで」程度の理由しかないのだが、オタク論もどきのひとつやふたつはできてもおかしくない。原住民と間抜けな人類学者っぽくて微笑ましい。

そして、そんな両者をつなぐキーワード、それが「萌え」。渡る世間は萌えばかりとはよくいったものだ。まさに不思議の国ニッポン。

それではみなさん、ごきげんよう。

text＝Hideki Satomi (YOTUBA SUTAZIO)

Release is set for a Special Issue!

All 5 issues of the "Weekly Dearest My Brother" project are out. During planning, a total of 7 figures were prepared. One for each of the 5 issues plus the preview figure (included with Dengeki Moeoh), and... One for Yuuki Ooshima's new comic world, "Bitter & Sweet". Why was a figure produced for a character that has next to nothing to do with "Weekly Bro?" The truth about the super heroine Tetra can finally be made public! We've decided to compile a "Weekly Bro" fanbook that includes a making of feature, bonus drawings, and the conception of "Bitter & Sweet." Naturally we had to include a figure. (The one in the background photo). Details are included on the attached insert, or you can check them out on our official homepage. Maybe something will happen, or maybe nothing will... It's a special issue that mimics that sort of lukewarm relationship.

HOWDY?

Let's mix-and-match
as you like!

each 680yen+tax

PINKY STREET®

www.mr-hobby.com/vance/

VANCE PROJECT BABY SUE

設定資料をはじめ、
フィギュア用に起こされた
ラフスケッチ等を多数掲載。
宣伝用のイラストや、
描き下ろしイラスト・コミック、
関連記事なども収録予定。
「BITTER & SWEET」の
情報もあったりなかったり
「わたおに」と同じサイズと
ボリュームでお送りする
特別増刊号、[illegible]制作中!

http://www.wata-oni.net

BITTER & SWEET

©OOSHIMA YUUKI

編集後記

illustration by kashmir

気づけばもう最終号。

これを書いている時点ですら、第1号の発売は1ケ月以上も先なので不思議な気分です。まるで、いつか出会う運命の人に出すラブレターのよう。ふふふ。なんだかワタシ、ちょっと酔っちゃったみたい……（自分に）。

そんなわけで、創刊号の評判もわからないうちに最終号の編集後記を書かなくてはいけないので厄介です。仕方ないので想像で進めましょう。

本誌を読んだ人から、「この『わたしのおにいちゃん』の『おにいちゃん』って誰のこと?」と、よく聞かれました（予定）。たしかに、本誌で扱っているキャラクターに「妹」という設定は出てきません。ただの小さい女の子たちです。もしかしたら彼女たちにも兄妹ぐらいいるのかもしれませんが、内容とはあまり関係のない設定です。本のタイトルに疑問を持たれるのも当然ですが、一応、理由はあります。

以前、秋葉原に行ったとき、目の前を小学生ぐらいの兄妹が歩いていました。可愛いものです。なにげなく見ていると、女の子が店頭の商品に気を取られて立ち止まっているうちに、男の子は気づかずに先に進んでいってしまいました。それを見た女の子が、大きな声でこう言いました。

「おにいちゃん、待って〜!」

すると、あたりにいた男の人たちが、いっせいにその女の子のほうを振り返ったではありませんか。つい、「あんたら、おにいちゃんじゃないだろ！　てゆーか、この街はおにいちゃん多すぎ!」と突っ込みを入れたくなったのですが、考えてみれば「おにいちゃん」と呼ぶのに血縁や理由がなくても、いまやどうでもよいわけです。

本誌の「おにいちゃん」というのは、この場合の関係に似ているのかもしれません。納得していただけたでしょうか? 僕は、いまだに納得できませんが。

それにしても、この国にはずいぶんと妹があふれています。もっとも、妹は多いにこしたことはないので、いいことだと思います。実際に本物の妹がいる人なんかは、よく「妹なんて、そんなにいいもんじゃない」と言いますが、お金を持っている人にかぎって「世の中お金じゃない」と平気な顔で口にするようなものなのでしょう。全5号の制作を終えた今、「妹はもうコリゴリだ」と思うのも、きっと幸せであることの証明だっちゃね、ダーリン。

まあ、発売される頃にはすべての作業は終わっているので、なにを言っても後の祭りです。祭りも始まってないのに、もう後夜祭の後片付けをしている。そんな気分でしょうか。

今はなにより、今回のお祭りに参加していただいた作家のみなさんへの感謝の気持ちでいっぱいです。皆さん、おつかれさまでした。（S）

週刊わたしのおにいちゃん

CREATORS

大嶋優木
YUG
ばらスィー
結城心一
田中久仁彦
ゆうの
kashmir
島田フミカネ
Tony
かんざきひろ
ねぎしきょうこ

CREATIVE STAFF

企画
よつばスタジオ

プロデューサー
里見英樹（よつばスタジオ）
萩原大輔（ムービック）

フィギュアプロデュース（K&M）
宮脇修一（海洋堂）
白井武志（海洋堂）
安田勝己（ムービック）

アートディレクション
ブックレット構成・編集・デザイン
里見英樹（よつばスタジオ）

PRODUCTION STAFF

海洋堂
村上甲子夫
福田孝史
塩井雅子

ムービック
安田正樹
金子 明
原田鉄平

PROMOTION STAFF

メディアワークス
梅澤 淳
政二貴彦
竹内亜耶
塚田正晃
後藤靖彦
田村修一
山添俊直

角川書店
岡田 直

special thanks

株式会社インタニヤ
キングレコード株式会社
株式会社GSIクレオス
ジェネオン エンタテインメント株式会社
株式会社スタジオDNA
株式会社メディアワークス
（50音順）

週刊わたしのおにいちゃん 5
発売日＝2004年2月14日
発行者＝佐藤辰男
発行所＝株式会社メディアワークス
〒101-8305 東京都千代田区神田駿河台1-8
東京YWCA会館 ☎03-5281-5203（営業）
印刷・製本＝図書印刷株式会社

※乱丁・落丁はお取り替えいたします。
※希望小売価格はパッケージに表示してあります。
本書の全部または一部を無断で複写（コピー）することは、著作権上の例外を除き、禁じられています。
©YOTUBA SUTAZIO/K&M
Printed in Japan